

9月の果実の見通し

令和元年8月30日現在
山形県東京事務所

品目	区分 主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	青森 長野 岩手 など	5090	100%	6058	305	安い	271	571	11.2%	9月から出荷が始まる中生品種の作況は、今後の天候次第。気温低下とともに荷動きが活発化する見込み。各産地とも台風の被害がないため量的には不足がなく、平年並みの相場展開が予想される。
日本なし類	栃木 茨城 千葉 など	9599	95%	10384	279	高い	260	-	-	「幸水」は8月上旬でほぼ終了。「豊水」は8月下旬から茨城産、千葉産の出荷が開始、9月から栃木産も始まる。「あきづき」は9月上旬から出荷が開始、中旬にはピークとなる。月末には「新高」の販売が始まる。 なし類全体では気温が高い状態が続くため、引き合いは強まる見込み。ただ「豊水」は品質次第。 中旬以降はぶどう類や柿類など秋果実の出回りが本格化してくることで徐々に動きは鈍化してくるものの、残暑との予報からまずまずの引き合いがある見込み。
ぶどう類	長野 山梨 岡山 など	4623	95%	4812	1102	高い	894	382	8.3%	9月は長野産中心に山梨産、岡山産と続く。各産地とも「シャインマスカット」「ピオーネ」の入荷量が増え、「巨峰」「ナガノパープル」も順調入荷となる見込み。「デラウェア」の主力は山形産だが、前進出荷となり9月の販売量は前年並みから若干減少。 9月後半の連休以降は減少に向かう品種が多いが、「シャインマスカット」は充分な量が出回る見込み。
もも類	福島 山形 など	1283	90%	1407	495	高い	444	397	30.9%	各産地とも晩生種となるため総量は少ないが、前年比較では若干増。 「ゆうぞら」は小玉傾向、「幸茜」「さくら」は大玉と、品種での流れには注意が必要。販売期間は9月末までであるが、20日頃(秋分の日)が過ぎると減少する。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)